

# 子どもたちの未来に向けた キッズデザイン

平成23年2月15日

経済産業省 デザイン・人間生活システム政策室

伊奈 友子

# 国の施策の中での位置づけ

「子ども・子育てビジョン」（平成22年1月閣議決定）

子どもを大切にできる社会をつくりたいと思います。それはわたしたち人間すべてが子どもである時代を経て、大人へと成長する存在だからです。

子どもは社会の希望であり、未来の力です。子どもの笑顔があふれる社会は個人の希望や夢を大切にできる社会です。だからこそ社会全体で子どもと子育てを応援していきたいと思っています。

子どもにとって安全で安心な社会は、すべての人にとっても安全で安心な社会でもあります。キッズデザインの普及や、質の高い子どもの居場所づくりは、日本経済の活力にもなりえるのです。わたしたちは子どもが社会の主体的な一員であると位置づけ、その子どもと子育てを国、地方、企業（職域）、地域、NPO、家庭、個人など社会全体で応援する姿勢を明確に打ち出すことで、豊かな日本社会をつくり続けていきたいと考えています。

## キッズデザインとは

- 子どもの安心・安全(事故の予防)や創造性の育成、子育てしやすい環境の整備等に配慮されたデザイン
- 子ども向けの製品・サービスだけでなく、子どもが触れる可能性があるすべてのものを対象とし、子どもの視点を取り入れたデザイン
- 事故事例や、子どもの身体特性等のデータに基づいたデザイン

これらの要素の他、キッズデザインの基本となる考え方などを明らかにして、社会全体で共有するための「キッズデザイン憲章」(仮称)を、産業界・消費者・研究者などの様々な分野の有識者による議論の下、現在検討中。

# キッズデザインに関する行政の取組

## 経済産業省



- 実際に発生した事故情報等を活用し、次の子どもの事故予防に配慮されたデザインを促すためのデータベース化や企業のニーズに応じた共同研究等を行う「キッズデザイン製品開発支援事業」を実施。
- 消費者庁等の関係省庁、関係機関や企業と連携し、業種の枠を越えたキッズデザインの普及とキッズデザインによるものづくりを推進。

## (独)産業技術総合研究所



- 子どもが巻き込まれた事故の原因分析や子どもの身体特性データ収集を行い、科学的な観点から事故予防に配慮されたデザインに反映するためのデータベースの構築や、企業との共同研究を実施。

# キッズデザインに関する民間の取組

## NPO法人キッズデザイン協議会

- 「3つの理念」に基づき、キッズデザインを推進するための業種横断的な民間団体。
- 「キッズデザイン賞」の実施、各種普及活動の他、キッズデザインの基本的なガイドラインの策定を実施している。

### キッズデザイン3つの理念

子どもたちの  
安全・安心に  
貢献するデザイン

子どもたちの  
創造性と未来を  
拓くデザイン

子どもたちを  
産み育てやすい  
デザイン

### キッズデザインマーク

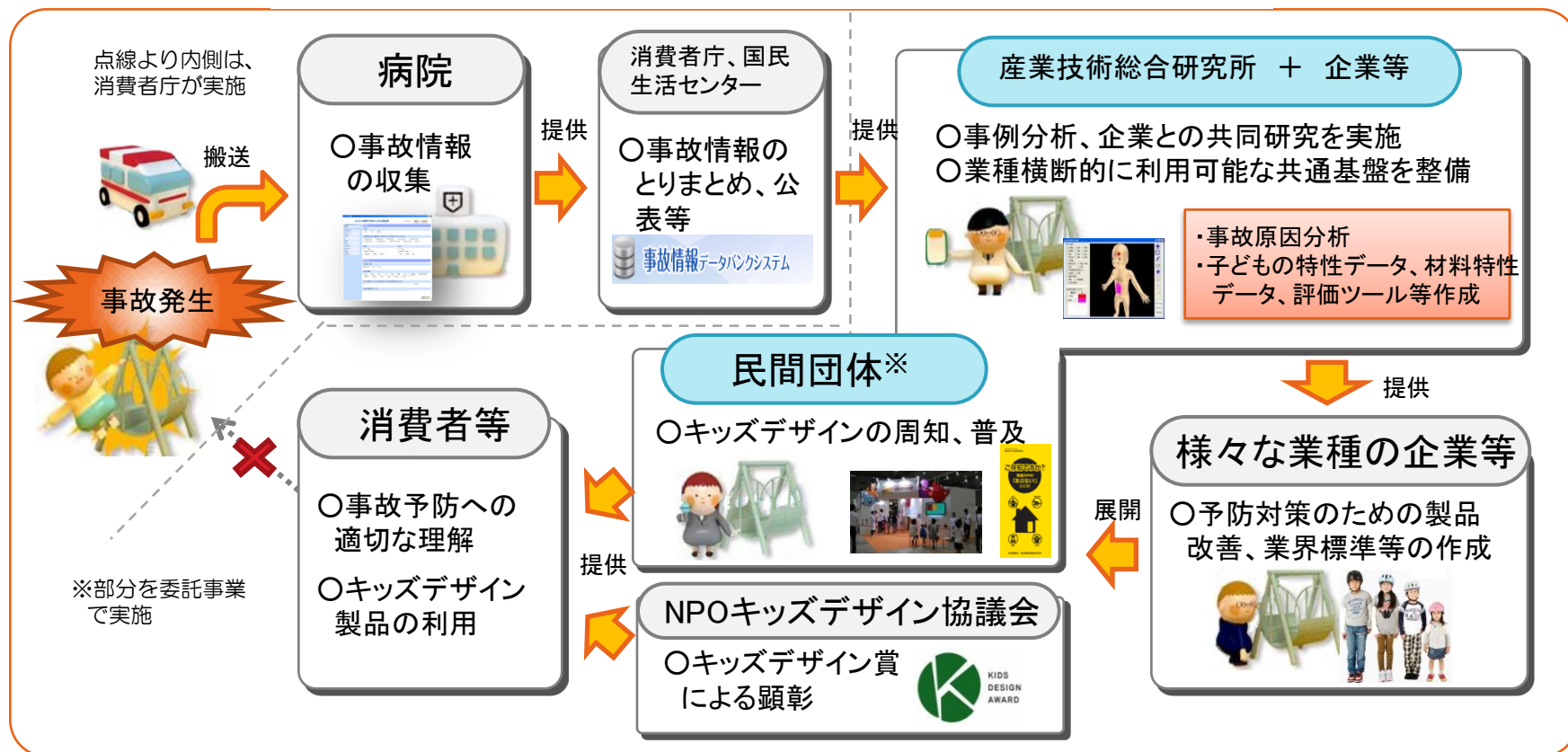


- キッズデザイン賞の受賞作品には、「キッズデザインマーク」の使用が認められる。
- 子ども向けの製品・サービスに限らず、大人向けのものでありながら、子ども目線を持った、良質な商品や施設、プログラム、調査研究活動などが対象。

# (参考)キッズデザイン製品開発支援事業

事故情報等の情報を生かし、事故予防に配慮されたデザインに反映できるよう、産業技術総合研究所や企業と協力して基盤構築と普及に取り組んでいる。

## キッズデザイン製品開発支援事業のイメージ



# 子どもたちの未来に向けたキッズデザインの実現に向けて

- キッズデザインは、子どもに関連する全ての省庁、関連機関、企業、デザイナー、消費者が連携して取り組むべきもの
- 社会全体で子どもを育む安心・安全で豊かな社会の実現を目指すためのデザインであり、キッズデザインに取り組むことは、未来をデザインすること



- 繰り返される類似の子どもの事故(死亡事故、重度な傷害を伴う事故)を未然に防止し、事故による経済的・社会的損失の抑制に寄与
- アジアを中心とする新興国市場の拡大を視野に入れた、キッズデザインによる日本のものづくりのブランド化、国際競争力の強化

ご静聴ありがとうございました

経済産業省 製造産業局  
デザイン・人間生活システム政策室  
伊奈 友子  
ina-tomoko@meti.go.jp